

年度	2024		
科目名	共通 国際マネジメント演習 I		
英文科目名	International Management Seminar I		
学期	前期	単位	2
教員名	宮副 謙司		
英文教員名	MIYAZOE Kenshi		

講義概要/Course description

受講者は、各自、マーケティング領域で研究テーマを自ら設定し、関連する文献を読み、調査・分析を行い、考察をとりまとめ、プレゼンテーションや論文によって発表することを体系的に学び、その能力の獲得を目指す。

*本年度のマーケティング演習の研究テーマは、(1) コミュニティ型マーケティング、(2) 地域研究(内発型活性化の担い手：リーダーシップマネジメント)-例) 神山、繊維産地など、(3) SDGs (オランダ・ポルトガル・メルボルン・ポートランドなど) などから選んでいただきたい。

*500番台-青山アクションラーニング「SDGsコミュニティマーケティング」受講生は、この演習を活用して、SDGsについての研究を行うことで、SDGsコミュニティマーケティングの理論研究・事例研究を厚くすることができる。

達成目標/Course objectives

①コミュニティ型マーケティングの考え方について理解を深め、ビジネス実践に活かせるような新たな知見をえる。②アカデミックスキルを理解し自らの研究テーマの範囲で適用できるようになる。③青山周辺の企業や街フィールドを見ることから新たなマーケティング戦略構想のきっかけをつかめるようになりたい。

学部・研究科のディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に基づき、当該科目を履修することで身につく能力 /Abilities to be acquired by completing the course in accordance with the faculty and graduate school diploma policy (graduation certification and degree conferral)

- 知識・技能
Knowledge and skills
- 思考力・判断力・表現力
Ability to think and judge, and power of expression
- 意欲・関心・態度
Motivation, interest, and attitude

履修条件（事前に履修しておくことが望ましい科目など）/Prerequisite

マーケティング専門科目をどれか1科目は履修し単位を獲得していること。

授業計画/Lecture plan

講義回		
1	授業計画	コースガイダンス、演習の進め方、研究のしかた、2023年度演習受講生作成の研究論文の紹介
2	授業計画	研究テーマについて各自検討、研究テーマの妥当性、明らかにしたいこと、研究手法の見込みなど（以下の授業回はコミュニティ型マーケティングの場合の研究プロセスで記述している）
3	授業計画	コミュニティ型マーケティングの考え方についての理解 コミュニティ型マーケティングの概要、有効性、検討点の確認
4	授業計画	コミュニティ型マーケティングの事例研究（BOOK第7章「エイベックス」など）
5	授業計画	コミュニティ型マーケティングの事例研究（BOOK第8章「ほぼ日」など）
6	授業計画	コミュニティ型マーケティングの検討点①-共感についてなど（BC関係）
7	授業計画	コミュニティ型マーケティングの検討点②-顧客間コミュニティについて（CC関係）
8	授業計画	受講生の研究計画 研究テーマの検討・確認、研究方法、論文作成の計画など
9	授業計画	コミュニティ型マーケティングの検討点③-顧客の価値発見の活かし方（CB関係）
10	授業計画	コミュニティ型マーケティングの検討点④-企業間連携での新たな価値創造について（BB関係）
11	授業計画	受講生の研究の進捗発表①
12	授業計画	受講生の研究の進捗発表②
13	授業計画	受講生の研究の進捗発表③
14	授業計画	受講生の研究の進捗発表④
15	授業計画	受講生の研究発表と総括
	事前学習	研究対象企業について参考文献をはじめ企業ウェブサイトや業界動向についての情報を収集し検討点の準備をしておく。
	事後学習	演習時のディスカッションポイントを振り返り、自分なりの意見をリフレクションシー

ト（あるいはノート）に書き留めて、後の論文作成にいかすこと。

授業方法/Method of instruction

区分/Type of Class	対面授業 / Classes in-person	
実施形態/Class Method	ハイブリッド型ハイフレックス形式 / hybrid high flex	
	補足事項/Supplementary notes	講義、文献購読、テーマディスカッション、論文作成（あるいは研究計画）、ケースライティング 授業方式は、教室での対面を基本とし、学生の個別事情を研究科長が認める場合のみオンライン（リモート）受講を可能とするハイブリッド型（Webexを使用）
活用される授業方法/ Teaching methods used	<input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション presentation <input type="checkbox"/> PBL（課題解決型学習） project-based learning <input type="checkbox"/> 反転授業（知識習得の要素を教室外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態） reverse teaching(a class style where students educate themselves out of class beforehand, and use the class period to confirm the knowledge one has gained.) <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション、ディベート discussion / debate <input type="checkbox"/> グループワーク group work <input type="checkbox"/> 実習、フィールドワーク field work <input type="checkbox"/> 上記に該当しない none of the above	

成績評価方法/Evaluation

	種別/Type	割合/Ratio	成績評価基準/Grading Criteria
1	レポート Report	50%	研究ケース論文など成果物
2	平常点 In-class Points	50%	受講態度（文献リサーチ、事例リサーチ、研究発表、ディスカッションへの貢献）

教科書/Textbooks

1	著者名/Author	宮副謙司・内海里香
	タイトル/Title	新しい流通論
	出版社/Publisher	有斐閣
	出版年/Published year	2023年
	ISBN	4641184623
2	著者名/Author	宮副謙司編著
	タイトル/Title	『ケースに学ぶ青山企業のマーケティング戦略』
	出版社/Publisher	中央経済社
	出版年/Published year	2015年
	ISBN	9784502151613
3	著者名/Author	宮副謙司編著
	タイトル/Title	青山企業に学ぶコミュニティ型マーケティング
	出版社/Publisher	中央経済社
	出版年/Published year	2022年
	ISBN	450240361X
4	著者名/Author	宮副謙司・内海里香
	タイトル/Title	米国ポートランドの地域活性化戦略
	出版社/Publisher	同友館
	出版年/Published year	2017年
	ISBN	9784496052828
	価格/Price	2640円

参考書/Reference books

その他/Others

実務経験 実務経験を持つことで、アカデミックな理論を実務にどう生かすか、活かせるかを勘所よく学生に指導できる。学生が構想・策定した戦略内容・手法を実務的に評価でき、学生に個別に指導できる（実務レベルでの成果達成度を、成績要素に加えることができる）

この科目のIntended Learning Objective(ILO)は、以下のようになります。

ILO-1. Be able to demonstrate a critical understanding of the main corporate management functions.

(企業経営の主な機能について深く理解していることを示すことができる)

ILO-2. Be able to articulate basic theories and fundamental concepts of international management.

(国際マネジメントに関する基本的理論や基本的概念を明確に説明することができる)

ILO-3: Be able to identify problems and apply related theories to solve problems and draw conclusions.

(問題を発見し、関連する理論を適用して問題を解決することができる)

ILO-4: Be able to apply quantitative and qualitative analysis skills.

(定量的および定性的な分析方法を応用することができる)

キーワード/Keywords

実務経験